

青嵐（あおあらし）とは、「初夏の木々の葉をゆすって吹くやや強い風」、「青々とした山の気」などの意味がある言葉です。逗葉高校を吹き抜けるさわやかな風と、生徒の皆さんのたくましさをイメージしました。第7回は、マイ応援団を持とう です。

逗葉高校の皆さん、期末試験お疲れ様です。いよいよ今年も残すところあとわずかとなりました。学校は4月始まりの「年度」がひとつの単位となっていますが、一般的には「年」が大きな区切りとなっていますから、12月は終わりの月です。

「終」という字は、糸偏に「冬」と書きます。この「冬」という漢字は、「糸の結び目」を表す象形文字で「ふゆ」という意味の他にも、「蓄える」「蔵にしまう」という意味があるそうです。12月は一年の終わりの月ですが、一年間の体験や成果やその他、様々なものを、次の一年に向かって蓄える大切な「仕込みの月」でもあります。

ところで、「冬の星座」という曲を知っていますか？歌詞が少し難しい言葉遣いなので、もしかすると「現代語訳」が必要な感じかもしれませんね。

木枯らし途絶えて さゆる空より 地上に降りしく 奇しき光よ

ものみないこえる しじまの中に きらめき揺れつつ 星座はめぐる

ほのぼの明かりて 流るる銀河 オリオン舞い立ち スバルはさざめく

無窮^{むきゆう}をゆびさす 北斗の針と きらめき揺れつつ 星座はめぐる

アメリカのヘイスという方の作った原曲(ベタなラブソングです)に、日本の堀内敬三という方がオリジナルの歌詩をつけ、昭和22(1947)年に、当時の国定教科書に載った唱歌です。ゆったりとした美しいメロディーに格調高い歌詞で、宇宙の雄大さ(無窮とは、無限の広がりという意味です)を歌っています。ただ、太平洋戦争の終戦が昭和20(1945)年だったということを考えると、ちょっと違う見方もできるのではないかと考えています。

戦後間もない、多くの人命と生活が奪われ破壊された厳しい状況の中、誰もがとにかく生きること、なんとか立ち直ることに必死でいるときに、「木枯らしが一時止んで、冴え渡る夜空から、奇跡のように美しい星の光が降ってくる。皆が安らぐ静けさの中で、星座はきらめきながらめぐっていく。」というこの歌詞は、もしかすると応援歌だったのかもしれないと、勝手に解釈しています。

「厳しく辛い現実の中で自分は生きている。でも、ふとした折に小さな星のような希望を垣間見ることできる。だから空を見上げよう。星がめぐるように時間は流れ、新しいときがおとずれる。だから挫けず生きていこう。」と。

私は、疲れたりへこんだりしているときに、この歌を思い浮かべると、少し元気になれる気がして、「マイ応援団」として認定しています。他にも自分を元気付けてくれるいろいろなものを「マイ応援団」登録してあって、辛いときなどに助けてもらっています。もちろん、誰かに応援してもらえれば、とてもありがたいけれど、自分ひとりで乗り切らなく

てはいけないこともありますよね。そんな時、自分の中に「マイ応援団」がいてくれると、結構イイ感じです。

悲しいことですが、この一年も様々な事件、事故、災害があり、それによって、多くの尊いのちや暮らしが奪われました。今も、たくさんの悲しみや困難さを抱えながら、今年を締めくくろうとしている方々があります。また、平穏に毎日を送っているように見えたとしても、様々な事情で深い悩みや辛さを抱えている人もいます。

皆さんの中にだって、難しい人間関係やよく見えてこない将来のことなど、様々な原因で悩み、生き辛ささえ感じている人がいるかもしれません。

よく悩みが「大きい」とか「小さい」とか言うようですが、それぞれの人が感じている悩みや辛さは、「他人と比べてどうこう」というものではないと思います。「世の中にはもっと厳しい状況に置かれている人々がいる」と、頭では分かっているけど、今自分が感じている苦しさが和らぐわけではありません。それは自分だけのものです。だから、「所詮自分はひとりだ」と感じることもあるでしょう。

でも、一人ぼっちだと感じる自分の心の中に、実はいませんか？「マイ応援団」。誰の心の中にも「マイ応援団」は登録可能です。もっとも「マイ応援団」を見つけて登録する作業は、自分にしかできません。もし、うまく見つけられていないなら、見つけ方をひとつお教えします。それは、どんなときに「(たとえ少しでも)幸せ」を感じるかを「意識すること」です。「なんか、ちょっと嬉しくなっちゃったその瞬間」のきっかけを見逃さないようにしてみてください。「マイ応援団」のタイプはいろいろです。「元気いっぱいに応援してくれるような、分かりやすいタイプ」「硬くなった心や体を少しだけ緩めてくれるような、割と地味なタイプ」「普通すぎて気付いていないけれど、ちゃんと出勤してくれている」なんていうのもあるかもしれません。

私は「歌」のようにいつでも出勤可能なものや、「虹」のように運が良いと出勤してくれるものなど、何でもアリでたくさん登録しています。人の心は、たぶん宇宙に負けないくらい広いので、いくらでも登録可能です。登録しすぎて忘れてしまってもOKでしょう。

ただし、「マイ応援団」に出勤してもらう時の注意があります。それは、「いじめの被害にあっているときなどに、自分ひとりで我慢する」ために出勤させてはダメだということです。本当に困って誰かの助けがいるときには、我慢してはいけません。声を出して周囲(例えば家族や先生、友達)に助けを求めてください。「声を出す勇気」を出すためにこそ、「マイ応援団」に出勤してもらいましょう。それだけは忘れないでください。

では、皆さんがステキな12月をすごし、良い新年を迎えられるよう心から願っています。

平成28年12月8日
校長 大貫 晶子